

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 28 年 3 月 31 日 (2016.3.31)

【公開番号】特開 2014-162336 (P2014-162336A)  
 【公開日】平成 26 年 9 月 8 日 (2014.9.8)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-048  
 【出願番号】特願 2013-34506 (P2013-34506)  
 【国際特許分類】

B 6 1 D 17/04 (2006.01)

B 6 1 D 17/00 (2006.01)

【F I】

B 6 1 D 17/04

B 6 1 D 17/00 C

【手続補正書】  
 【提出日】平成 28 年 2 月 10 日 (2016.2.10)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

構体の床部分、側部分及び屋根部分の少なくとも 1 つを車両長手方向において複数に分割してなる複数のモジュールと、

前記複数のモジュールが取り付けられ、車両長手方向に延びる長尺部材と、

前記溝部の内部空間に挿入された結合座ユニットと、を備え、

前記長尺部材は、前記複数のモジュールを固定するための車両長手方向に沿って延びた溝部を有し、

前記溝部の車両長手方向に沿って延びた長手開口部の幅は、車両長手方向に直交する方向において、前記溝部の内部空間の幅及び前記結合座ユニットの幅よりも小さく、

前記複数のモジュールが前記長手開口部を通して前記結合座ユニットに固定される、 鉄道車両構体。

【請求項 2】

前記結合座ユニットは、前記モジュールがそれぞれ固定される複数の結合座と、前記複数の結合座を互いに回動可能に連結する結合リンクとを有し、

前記結合リンクは、車両長手方向において前記モジュールの車両長手方向の端部に対応する位置に配置されている、請求項 1 に記載の鉄道車両構体。

【請求項 3】

前記側部分が、前記複数のモジュールにより構成され、側梁及び軒桁が、前記長尺部材により構成され、

前記軒桁の前記溝部に配置された前記結合リンクは、前記側梁の前記溝部に配置された前記結合リンクよりも車両長手方向に長い、請求項 2 に記載の鉄道車両構体。

【請求項 4】

前記溝部の車両長手方向の両端には、車両長手方向に向けて開口する端開口部が形成され、

前記端開口部には、蓋部材が取り付けられている、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の鉄道車両構体。

【請求項 5】

前記複数のモジュールは、前記結合座ユニットに対して締結具により締結され、

前記溝部の前記長手開口部と反対側の面には、前記締結具のうち前記結合座ユニットから突出する部分に対向する凹部が形成されている、請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の鉄道車両構体。

【請求項 6】

構体の床部分、側部分及び屋根部分の少なくとも 1 つを車両長手方向において複数に分割してなる複数のモジュールと、

前記複数のモジュールが取り付けられ、車両長手方向に延びる長尺部材と、を備え、

前記長尺部材は、前記複数のモジュールを固定するための車両長手方向に沿って延びた溝部を有し、

前記長尺部材は、機器を取り付けるために車両長手方向に沿って延びる別の溝部を有している、鉄道車両構体。

【請求項 7】

構体の側部分を車両長手方向において複数に分割してなる複数の側モジュールと、

前記複数の側モジュールが取り付けられ、車両長手方向に延びる長尺部材と、を備え、

前記長尺部材は、その車幅方向外方の側面において、前記複数の側モジュールを固定するための車両長手方向に沿って延びた外側溝部を有している、鉄道車両構体。

【請求項 8】

前記構体の床部分を車両長手方向において複数に分割してなる複数の床モジュールを更に備え、

前記長尺部材は、側梁であり、

前記複数の床モジュールは、前記側梁に取り付けられ、

前記側梁は、その車幅方向内方の側面において、前記複数の床モジュールを固定するための車両長手方向に沿って延びた内側溝部を有している、請求項 7 に記載の鉄道車両構体。

。

【請求項 9】

前記側梁は、その底面において、前記床モジュールを固定するための車両長手方向に沿って延びた底側溝部を更に有している、請求項 8 に記載の鉄道車両構体。

【請求項 10】

前記構体の屋根部分を車両長手方向において複数に分割してなる複数の屋根モジュールを更に備え、

前記長尺部材は、軒桁であり、

前記複数の屋根モジュールは、前記軒桁に取り付けられ、

前記軒桁は、その車幅方向内方の側面において、前記複数の屋根モジュールを固定するための車両長手方向に沿って延びた内側溝部を有している、請求項 7 に記載の鉄道車両構体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

側モジュール 21, 22 を固定するための第 3 及び第 4 結合座ユニット 53, 54 は、側モジュール 21, 22 がそれぞれ固定される複数の結合座 81 と、複数の結合座 81 を互いに連結する結合リンク 82A, 82B とを有している。結合座 81 は、結合リンク 82A, 82B に対して結合ピン 84 によって回動可能に連結されている。結合座 81 は、短冊状の長尺板であり、車両長手方向の直線状に一列に並んだ複数の締結孔 81a が形成されている。結合リンク 82A, 82B は、車両長手方向において側モジュール 21, 22 (図 1 参照) の車両長手方向の端部に対応する位置に配置されている。即ち、結合リンク 82A, 82B は、車両長手方向に隣接する側モジュール 21, 22 の取付部 21c,

2 1 e , 2 2 c , 2 2 e の間の領域に対応して配置されている。